

「主をほめよ高らかに」

(歴代誌 I 29:11)

主をほめたたえよ 高らかに

主イエスを

主をほめたたえよ とこしえに

主イエスの名を

主の愛 いつまでも変わらず

全地(ぜんち)を喜びで満たす

主をほめたたえよ 高らかに

133 あなたの御言葉は

あなたのみことばは

わたしの足のともしび

あなたのみことばは

わたしの道の光

みことばにより わたしを生かし

義の道へと 導いてください

新聖歌38番 「わが目を開きて」

- 1 わが目を開きて さやに見せ給(たま)え
今まで知らざりし 聖書(みふみ)の真実(まこと)を
* われ今 静かに わが主を待つなり
主よ与えたまえ 悟(さと)りを

- 2 鈍(にぶ)き耳なれど 声をかけたまえ
ただ主の御言葉に 従いまつらなん * (くりかえし)

- 3 主よ わが唇(くちびる) 解(と)きて歌わしめ
たえなる御恵みを 伝えしめたまえ * (くりかえし)
アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌432番 「北の果てなる」

- 1 北の果てなる氷の山 照る日に焼くる まさごの原
叫び求むる 声ぞ響く「迷いのくさり ときはなて」と
- 2 恵みのつゆは草木にすら 豊かにかかり 天つ栄え
野にも山にも満ち渡るを などか人のみ 罪に染みし
- 3 上なき知恵に照らされたる 我らはいかで この光を
暗きにまよう 世(よ)の民らに
照らさで隠し 秘(ひ)め置くべき
- 4 聖き主イエスの 再臨(のぞ)みたもう 時の来るまで
いよよ励み 救いの光 高くかかげ
あまねく照らせ 四方(よも)の国に アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌62番 「天(あま)つみ民も」

天(あま)つ み民も

地にある者も

父 子 御霊(みたま)の神をたたえよ

神をたたえよ

アーメン